

# 自治体病院比較経営

基礎データの抽出

→

各指標の数値算出

→

各指標の評点当てはめ  
(診断表評価スケール)

## 現況指標

(客観的な経営状況を診断する指標)

例)

経常収支比率 103.3%  
全国平均値 93.9%  
標準偏差 8.2

## 偏差値 (i) の算出

(参照 P 114~115)

$$(i) = \frac{(103.3) - (93.9)}{1 / 10 \times 標準偏差 (8.2)} = 11.5$$

参照 P - 134

偏差値の分布  $20 > i \geq 10$

7~84位の間に位置する

## 状況変動指標

(経営状況の傾向を診断する指標)

例)

経常収支比率  
平成17年度 101.4%  
平成18年度 103.3%

## 変化率 (i) の算出

(参照 P 115~116)

$$(i) = 103.3 - 101.4 = 1.9$$

参照 P - 136

$i \geq 1.9$

評点

+ 2

1~150位の間に位置する

## 医療指標

(医療の水準等を診断する指標)

例)

救急告示病院における救急体制の場合

専門病床 10床 ..... 3点  
 待機体制 医師1名、  
           看護師3名常時当直 ..... 4点  
 施設整備 救急専用入口、処置室  
           及び手術室を整備 ..... 2点

## 指標の算出

(参照 P 116~117)

計9点・・・Bランク

参照 P - 137

「救急告示 B」

評点

+ 1

151~300位の間に位置する

# 診断表活用例

